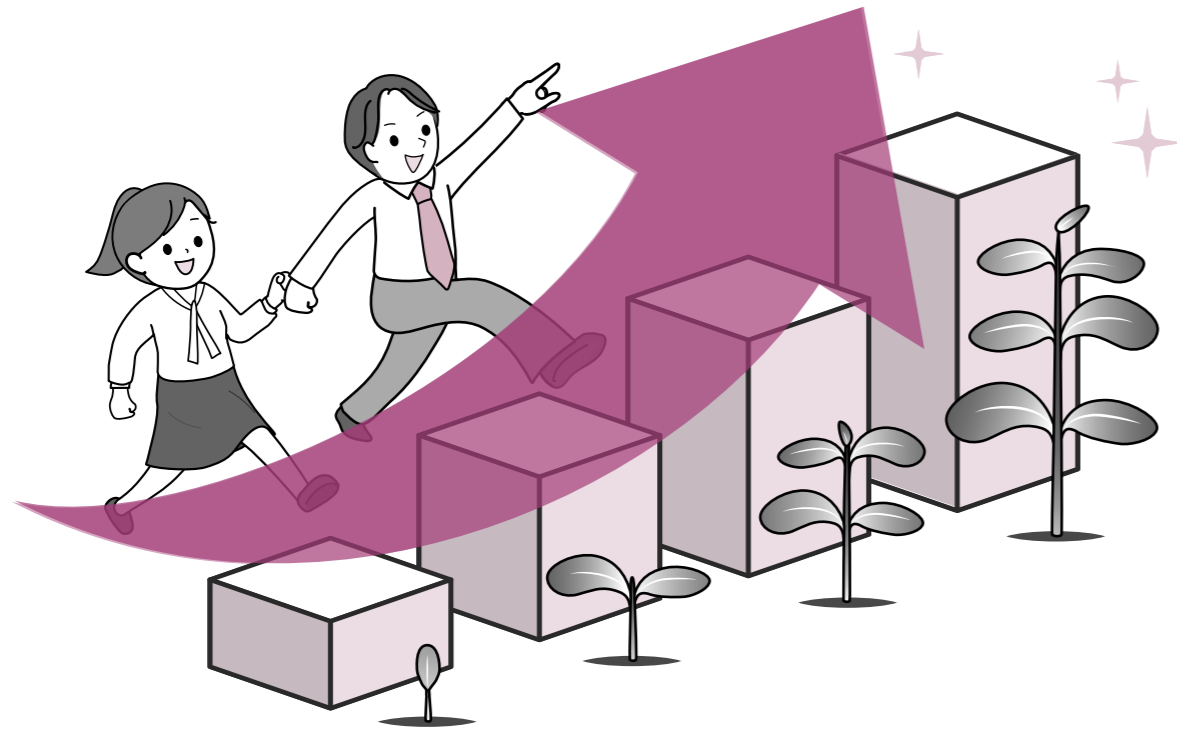


Scale up



1. 働く

(1) 働きやすく魅力ある職場の実現に向けた労働条件と職場環境の改善

- 1) 期首に開催するグループ執行委員会において労働条件と職場環境改善にむけた年間計画を立て、執行委員会で進捗管理します。
- 2) 毎月組合員から集約した意見をグループ執行委員会で課題化し、毎月の労使協議および統一労働条件交渉の場を通じて、職場の課題解決や労働条件の改善に取り組みます。

(2) 目標を明確にした生産性向上の実現

- 1) 「ムリ・ムダ・ムラ」の削減による作業改善、DXを職場に浸透させる労使協働の取り組みを行い、安定的な営業利益の確保を目指します。

(3) 社会の変化、ライフステージに合わせた多様な働き方の実現

- 1) さまざまな環境変化に順応できるよう、組合員の声を起点に、働き方や人事制度について労使で検討をしていきます。

2. 暮らす・生きる

(1) 組合員が学び体験できる機会の実現

- 1) 自社サービスを体験する企画を検討し、従業員が進んで学び、実践できる機会を継続して実施します。

(2) 社会とのかかわりの日常化と課題解決に向けた活動の構築

- 1) 第27回参議院議員選挙における組織内候補予定者ならびに推薦候補者の必勝に向けて、組織の総力を結集し、取り組みます。

3. 組織基盤

(1) 組織基盤である組合役員体制と組織運営の確立

- 1) 期首に活動のルールを学ぶ機会を設け、活動に取り組みます。

(2) 一体感のある組合組織の醸成

- 1) グループ執行委員会において入組式の必要性を再度確認し、新入組合員に対して実施できる環境を構築し、一人ひとりが組合員のなかまだと実感できる風土を醸成します。

(3) 組織を支える教育・広報・内部統制の強化

- 1) 健全なグループ運営に必要な知識を、グループ役員全員が学ぶ機会を期首に設けます。また、必要に応じて専門スキル向上の教育機会にグループ役員を派遣します。